



日本酪農教育ファーム研究会
令和5年度 定期総会

日時： 令和5年6月18日（日）10:00～

会場： オンライン

式 次 第

- 1, 開会
- 2, 会長挨拶
- 3, 来賓挨拶
- 4, 議事
 - ① 令和4年度事業報告・決算
 - ② 令和5年度事業計画・予算（案）
- 5, 閉会

令和4年度事業報告

【諸活動の概要】

1. 研究会の活動

(1) 定期総会の開催

日時：令和4年6月25日（日）13時～14時 オンライン

参加人数：15名

内容：令和3年度事業報告および決算・令和4年度事業計画および予算

(2) 研究集会の開催

日時：令和4年10月23日（日）12時半から15時 参加者50名

場所：オンライン

共催：（一社）中央酪農会議

内容：

講演「最近の酪農をめぐる情勢について」（一社）中央酪農会議 寺田繁さん

発表「わたしの牧場の状況について」岩谷史人さん iーふぁーむ岩谷牧場（北海道）
清水一将さん 株式会社清水牧場（愛知県）

実践発表「わくわくモーモースクール」墨田区立第三寺島小学校

主幹教諭 山口覚さん 主任教諭 松井明美さん 教諭 関啓隼さん

(3) 例会 すべてオンライン

5月22日（日）19時半 参加者9名

「動画を観る会」「牛乳ってこんなにすごい」DVD

9月25日（土）19時半 参加者12名

「3つの事業計画についてアイデア出し」

2月26日（日）20時から21時半 参加者30名

実践報告：「ふるさとを支える職業—酪農業—を深く知る

安達永補さん（北海道標津町安達牧場）

永谷隆夫さん（標津町教育委員会 生涯学習指導主幹）

木村雅弥さん（標津町教育委員会生涯学習課主事）

(4) 役員会 すべてオンライン

4月24日、7月30日、8月22日、12月22日、3月28日

内容：定期総会、例会の準備、研究集会の準備とまとめ

(5) 研修会・イベント等の開催 なし

2. その他

- ・研究会員は、現在93名。
- ・研究会メーリングリストは、現在53名ほど登録。
- ・研究会 facebook（フォロワー532人）で情報交換を行う

令和4年度 日本酪農教育ファーム研究会決算

(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

1. 収入の部

項目	本年度予算額	本年度決算	増減△は減	備 考
前年度繰越金	164,449	164,449	0	
会費	178,000	112,000	△ 66,000	2000円×55(報告関係者・普通会費) 1,000円×2(学生)
研究委託費	0	0	0	
賛助金	70,000	70,000	0	(一社)中央酪農会議
その他	0	1	1	
合計	412,449	346,450	△ 65,999	

2. 支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算	増減△は減	備 考
会議費	50,000	19,800	△ 30,200	研究会会場費・会議運営費
調査研究費	50,000	50,000	0	交通費・資料費等
印刷代	3,000	0	△ 3,000	案内状
通信費	30,000	27,636	△ 2,364	郵券
備品	0	0	0	
消耗品	100,000	18,020	△ 81,980	事務用品等
謝金	130,000	120,000	△ 10,000	講師謝礼・田舎作成代
雑費	5,000	2,750	△ 2,250	干支料等
予備費	44,449	0	△ 44,449	
繰越金		108,244	108,244	
合計	412,449	346,450	△ 65,999	

上記の通り収支したことを報告します。

令和5年3月31日

会長

福井 みどり



事務局

横山 弘美



監査の結果、収入・支出とも適正と認める。

令和5年3月31日

監事

亀山 桂子



監事

酒井 彰敏



令和5年度 事業計画 (案)

全国の会員が情報交換や研修に参加しやすいように、オンラインでの活動を中心に進める。新型コロナウイルス感染等で、酪農関係および乳業関係者に起きた様々な変化や対応も学びの一つとして、実践を増やし、研究活動を進める。

- 1 年次研究会の開催「学校と牧場をつなぎ、教育的な実践を推進する」をテーマに、実践発表と協議等を行う。今年度も(一社)中央酪農会議と協力して開催する。(オンライン)
- 2 実践研究活動 (一社)中央酪農会議作成(研究会協力)動画「牛乳ってこんなにすごい」を活用した実践事例を集める。
- 3 出前授業「わくわくモーモースクール」のモデルカリキュラムの見直しをする。発達段階に応じて、2の動画を活用したり、オンラインでの牧場とのやりとりなども取り入れ、体験の事前事後の学習を充実するためのプランにする。
- 4 研究会ホームページをリニューアルし、SNS等とともに活用し、広く酪農理解を深める。これまでの成果物をアップして、アクセスしやすくする。そのことによって酪農教育ファーム活動のことをより知ってもらう機会にする。
- 5 本研究会が主催する研修会の開催、及び他の機関のセミナーやイベントの参加
 - (1) 研究会主催の研修会を行う。
 - (2) 他の機関が開催するセミナーやイベント、農林水産省・(一社)Jミルク主催「牛乳でスマイルプロジェクト」に参加
- 6 地域ブロック活動の推進

オンラインでの地域ブロックのつながりを作る。地域ブロック活動を推進し、地域の活動を活性化させるとともに、本部と連携をとり、広く酪農教育を推進できるよう協力をする。
- 7 酪農教育ファーム活動に関する実践交流、意見・情報交換
 - (ア) 定期的に例会を開催することにより、日常的な会員相互の実践交流を活発に行う。
 - (イ) メーリングリストや Facebook グループによる情報交換、実践及び研究の報告を行い、ネットワークを強める。ライングループの作成を検討する。
- 8 その他研究会の目的を達成するための事業

本研究会の設立やその趣旨について、教育関係及び農業関係のメディアを通して積極的に広報し、新規会員を増やすと共に、多くの関係者の研究会参加を促進する。また、本委員会の活動を円滑に推進するための仕組みや方法などについての検討を進める。

【 活動予定 】(役員会は随時行う)

月日	時間	場所	内容
4月16日(日)	19:30～	オンライン	例会
6月18日(日)	10:00～	オンライン	定期総会・例会
9月		オンライン	例会
10月22日(日) 予定		オンライン	実践研究集会
12月		オンライン	例会
2月		都内またはオンライン	例会

令和5年度 日本酪農教育ファーム研究会予算(案)

1. 収入の部

項目	昨年度決算	本年度予算	増減△は減	備考
前年度繰越金	164,449	108,244	△ 56,205	
会費	112,000	184,000	72,000	2000円×91 (教育関係者、酪農家等) 1,000円×2 (学生)
研究受託費	0	0	0	
賛助金	70,000	70,000	0	(一社) 中央酪農会議
その他	1	0	△ 1	
合計	346,450	362,244	15,794	

2. 支出の部

項目	昨年度決算	本年度予算	増減△は減	備考
会議費	19,800	40,000	20,200	研究会会場費・会議運営費
調査研究費	50,000	50,000	0	交通費・資料費等
印刷代	0	5,000	5,000	案内状
通信費	27,636	30,000	2,364	郵券
備品	0	0	0	
消耗品	18,020	80,000	61,980	事務用品等
謝金	120,000	130,000	10,000	講師謝礼・HP作成代
雑費	2,750	5,000	2,250	手数料等
予備費	0	22,244	22,244	
繰越金	108,244	0	△ 108,244	
合計	346,450	362,244	15,794	

役員

会長	福井	みどり	板橋区立志村第三小学校
副会長	高橋	淳一	帯広市立つつじが丘小学校
副会長	藤田	まり子	熊本市教育委員会
事務局長	横山	弘美	練馬区立大泉第四小学校
事務局	青柳	友作	板橋区立三園小学校
会計監査	酒井	彰敏	関東生乳販売農業協同組合連合会
会計監査	亀山	桂子	三鷹市立第一中学校
理事	吉田	恭寛	吉田牧場
顧問	國分	重隆	東京都教職員研修センター